

大事業	30	防災・防犯	担当部署	消防総務課	
中事業	10	消防・防災対策の充実	予算科目	会計	01 一般会計
小事業	20	常備消防費		款	09 消防費
事業開始年度		令和2年度		項	01 消防費
事業進捗度		—		目	01 常備消防費
当初予算額		74,069,000 円	目的	常備消防として各種災害に対応するため、職員の資質向上と消防資機材の維持管理を図ることにより、迅速な消防防災活動を行い、災害の予防及び被害の軽減を図るもの。	
予算現額		70,751,000 円			
決算額 A		68,590,576 円			
財源内訳	国・県支出金	0 円			
	地方債	0 円			
	その他	使用料外 3,879,061 円			
	一般財源	64,711,515 円			
人件費コスト B		73.0人役 513,993,000 円	総事業費 A+B	582,583,576 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【防災体制の構築事業】	63,204,515円	0円	0円	3,879,061円	59,325,454円

救急救命士の養成と高度な応急処置実施のために、医療機関での実習（就業前実習、薬剤投与等）を行い、医学会への参加や医療機関との連携を通じ救急体制の整備を図った。
 また、多様な災害に対処できる高度な能力を持つ消防職員の育成や通常の災害から大規模な災害まですべて対処可能にし、住民の安心安全を確保するための資機材整備を図った。

成果指標	目標値	実績値	差引
応急手当の実施率 (%)	80.0%	71.2%	△8.8%

- 旅費 1,334,980 円
 - ・消防学校、消防大学校、救命士研修所 延べ13人 1,292,780 円
 - ・その他研修、会議旅費 延べ8人 42,200 円
- 需用費 20,880,587 円
 - ・消耗品費、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、被服費



消防吏員用活動服 34着



救助隊用救助服 15着

- 役務費 6,317,544 円
 - ・通信運搬費、手数料、保険料
- 委託料 17,473,596 円
 - ・保守管理委託料 外
- 使用料及び賃借料 2,620,664 円
 - ・使用料、敷地借上料 外
- 備品購入費 5,587,615 円
 - ・庁用器具費（比田屋外物置、広瀬エアコン） 333,135 円
 - ・器具費 5,254,480 円



エアークンプレッサー 1台



AEDトレーナー 3台



スクープストレッチャー 2台



喉頭鏡セット



フルボディーハーネス 2器



エネルギーチェッカー 1台



ガーミン 1台



予防啓発用DVD 1枚



防火衣一式 12式



消防用ホース 35本



円座 2枚



ベースプレート 3式

●負担金補助及び交付金	6,511,042 円
・消防学校、消防大学校 外 各種研修負担金	3,454,645 円
・協議会、防火委員会、消防長会 外 負担金	3,056,397 円
●その他	178,154 円
・報償費、消防長交際費 外	
●報酬	1,743,600 円
・会計年度任用職員報酬 (1人分)	
●職員手当等	245,557 円
・会計年度任用職員手当等 (1人分)	
●社会保険料	311,176 円

【消防車両維持管理事業】 5,386,061円 0円 0円 0円 5,386,061円

消防車両の整備維持管理は、災害時の適切且つ迅速な対応を可能にするためには不可欠で、消防車両点検、整備を図り、災害による被害を軽減することに対応した。

●需用費	4,189,912 円
・修繕料	
●役務費	703,049 円
・手数料 (リサイクル料 外)	107,910 円
・保険料 (自賠責保険、共済保険)	595,139 円
●公課費	493,100 円
・自動車重量税 (11台)	

				決算事項別明細書		P107																				
大事業	30	防災・防犯		担当部署		消防総務課																				
中事業	10	消防・防災対策の充実		予算科目	会計	01 一般会計																				
小事業	25	非常備消防費			款	09 消防費																				
事業開始年度		令和2年度			項	01 消防費																				
事業進捗度		-			目	02 非常備消防費																				
当初予算額		90,642,000 円		目的	消防団員の資質向上と消防資機材の維持管理等を行い、火災を予防し水害や地震等から被害の軽減を図るもの。																					
予算現額		69,939,000 円																								
決算額 A		67,449,315 円																								
財源内訳	国・県支出金	国1/3	565,000 円																							
	地方債		0 円																							
	その他	基金外	18,363,794 円																							
	一般財源		48,520,521 円																							
人件費コスト B		5.0人役	35,205,000 円		総事業費 A+B	102,654,315 円																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【消防団体制の構築事業】</td> <td>61,541,084円</td> <td>37,000円</td> <td>0円</td> <td>17,163,794円</td> <td>44,340,290円</td> </tr> </tbody> </table> <p>消防団は、災害現場での活動や日頃の地域住民への防災指導などの地域防災力の中枢をなすものである。災害状況によっては消防団の活動も広範且つ長時間に及ぶもので、その対応能力を更に向上させるために訓練実施を行い、地域防災力向上を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>差引</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防団員数（累計）</td> <td>700人</td> <td>673人</td> <td>△27人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ●報酬 21,415,799 円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員報酬（677人） 15,533,999 円 ・機械器具手入れ報酬（自動車44台） 924,000 円 ・訓練出動報酬（延べ478人） 1,434,000 円 ・災害出動報酬（火災318人、台風警戒76人 延べ394人） 1,372,800 円 ・火災予防警戒パトロール（春・秋火災予防週間）（延べ442人） 1,326,000 円 ・操縦者等報酬（自動車44台、ラッパ隊手当11人） 825,000 円 ●報償費 13,320,400 円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員退職報償金（41人） 13,214,000 円 ・安来市消防団協力隊謝礼（38人） 106,400 円 ●旅費 1,447,600 円 <ul style="list-style-type: none"> ・費用弁償 ●需用費 6,106,752 円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 777,235 円 ・燃料費 391,426 円 ・被服費 3,770,866 円 ・その他（光熱水費、修繕費） 1,167,225 円 ●負担金補助及び交付金 18,774,448 円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員退職報償金掛金（776人） 14,899,200 円 ・消防団員福祉共済掛金（676人） 2,028,000 円 ・公務災害補償費共済掛金 1,612,748 円 ・防火防災訓練災害補償費等共済掛金 39,000 円 ・その他 195,500 円 							【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【消防団体制の構築事業】	61,541,084円	37,000円	0円	17,163,794円	44,340,290円	成果指標	目標値	実績値	差引	消防団員数（累計）	700人	673人	△27人
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																					
【消防団体制の構築事業】	61,541,084円	37,000円	0円	17,163,794円	44,340,290円																					
成果指標	目標値	実績値	差引																							
消防団員数（累計）	700人	673人	△27人																							



雨衣 287着



消防団員用活動服 30着

●その他（通信運搬費、手数料、敷地借上料 外） 476,085 円

【消防団車両等維持管理事業】 3,290,231円 0円 0円 0円 3,290,231円

消防車両の整備維持管理は、災害時の適切且つ迅速な対応を可能にするためには不可欠で、適正な消防車両の維持管理を図り、災害による被害を軽減することに対応した。

●需用費 1,835,675 円

・修繕料

●役務費 802,056 円

・手数料（リサイクル費用 外） 18,110 円

・保険料（自賠責保険、共済保険） 783,946 円

●公課費 652,500 円

・自動車重量税（23台）

【消防団員用器具費購入事業】 2,618,000円 528,000円 0円 1,200,000円 890,000円



トランシーバー 90器



消防団員用防火衣 5着



消防用ホース 20本



投光器・発電機 2式

						決算事項別明細書		P107																																											
大事業	30	防災・防犯			担当部署		消防総務課																																												
中事業	10	消防・防災対策の充実			予算科目	会計	01	一般会計																																											
小事業	30	常備消防施設費				款	09	消防費																																											
事業開始年度		令和2年度				項	01	消防費																																											
事業進捗度		-				目	03	消防施設費																																											
当初予算額		33,800,000円			目的	消防施設及び設備の整備拡充を行うことにより、各種の災害に初動から迅速かつ効果的に対応し、被害の軽減を図るもの。																																													
予算現額		34,088,000円																																																	
決算額 A		34,087,930円																																																	
財源内訳	国・県支出金		0円																																																
	地方債	過疎	26,500,000円																																																
	その他		0円																																																
	一般財源		7,587,930円																																																
人件費コスト B		5.0人役	35,205,000円		総事業費 A+B		69,292,930円																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【事業名称】</th> <th>事業費</th> <th>国・県支出金</th> <th>地方債</th> <th>その他</th> <th>一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【消防庁舎維持管理事業】</td> <td>1,549,930円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>0円</td> <td>1,549,930円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">24時間出動態勢を確保し、消防業務を円滑に遂行するため、消防施設を適正に維持管理し更に施設整備を充実させ、業務効率を高める職場環境の確保を図った。</td> </tr> <tr> <td colspan="6">●需用費</td> </tr> <tr> <td>・修繕料（維持）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,549,930円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【機械器具購入事業】</td> <td>32,538,000円</td> <td>0円</td> <td>26,500,000円</td> <td>0円</td> <td>6,038,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="6">経過年数と走行距離により、老朽化が著しく、災害対応への影響が危惧される車両を優先に更新するもの。令和2年度は伯太救急車両を更新した。</td> </tr> </tbody> </table>										【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源	【消防庁舎維持管理事業】	1,549,930円	0円	0円	0円	1,549,930円	24時間出動態勢を確保し、消防業務を円滑に遂行するため、消防施設を適正に維持管理し更に施設整備を充実させ、業務効率を高める職場環境の確保を図った。						●需用費						・修繕料（維持）				1,549,930円		【機械器具購入事業】	32,538,000円	0円	26,500,000円	0円	6,038,000円	経過年数と走行距離により、老朽化が著しく、災害対応への影響が危惧される車両を優先に更新するもの。令和2年度は伯太救急車両を更新した。					
【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源																																														
【消防庁舎維持管理事業】	1,549,930円	0円	0円	0円	1,549,930円																																														
24時間出動態勢を確保し、消防業務を円滑に遂行するため、消防施設を適正に維持管理し更に施設整備を充実させ、業務効率を高める職場環境の確保を図った。																																																			
●需用費																																																			
・修繕料（維持）				1,549,930円																																															
【機械器具購入事業】	32,538,000円	0円	26,500,000円	0円	6,038,000円																																														
経過年数と走行距離により、老朽化が著しく、災害対応への影響が危惧される車両を優先に更新するもの。令和2年度は伯太救急車両を更新した。																																																			
						伯太救急の更新車両																																													

				決算事項別明細書		P107
大事業	30	防災・防犯		担当部署		消防総務課
中事業	10	消防・防災対策の充実		予算科目	会計	01 一般会計
小事業	35	非常備消防施設費			款	09 消防費
事業開始年度		令和2年度			項	01 消防費
事業進捗度		-			目	03 消防施設費
当初予算額		36,750,000 円		目的	消防団施設及び設備の整備拡充を図り、安全で安心な住みよい地域づくりを目指すもの。	
予算現額		16,295,000 円				
決算額 A		15,913,159 円				
財源内訳	国・県支出金		0 円			
	地方債	緊防	11,600,000 円			
	その他		0 円			
	一般財源		4,313,159 円			
人件費コスト B		4.0人役	28,164,000 円	総事業費 A+B	44,077,159 円	

【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【非常備消防体制の構築事業】	15,913,159円	0円	11,600,000円	0円	4,313,159円

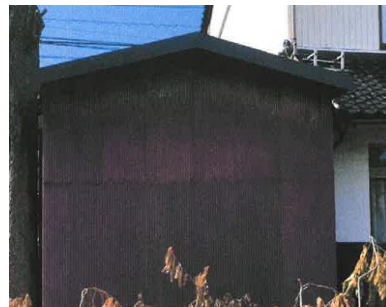
資機材及び施設を整備し消防力の充実強化を図り、年々多様化する災害への対応を図った。
 飯梨分団に総務省消防庁より無償貸与を受けた救助資機材搭載型消防ポンプ自動車、井尻分団へ小型動力ポンプ付積載車を整備した。
 市内4カ所に消火栓を新設した。

●需用費

・修繕料（維持） 872,078 円



着工前



竣工

荒島分団車庫屋根修繕

●手数料 防火水槽区画線塗装、防火水槽土砂撤去 249,700 円

●工事請負費

・西の谷ホース乾燥塔撤去工事 453,200 円
 ・赤江分団給水引込工事 396,000 円



着工前



竣工

ホース乾燥塔撤去工事（西の谷）

●原材料費 56,981 円

●備品購入費



小型動力ポンプ付積載車（井尻分団配備）

9,350,000 円



●負担金補助及び交付金

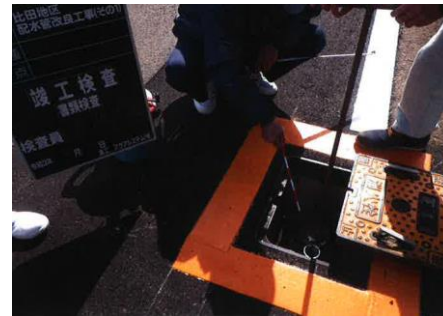
4,535,200 円

- ・消火栓新設工事負担金

3,744,900 円



古川町



広瀬町西比田

新設消火栓整備箇所 4カ所

- ・消火栓修繕工事負担金

750,700 円

- ・上水道加入負担金

39,600 円



総務省消防庁より無償貸与を受けた救助資機材搭載型消防ポンプ自動車（飯梨分団配備）



						決算事項別明細書			P107	
大事業	30	防災・防犯			担当部署		消防総務課			
中事業	10	消防・防災対策の充実			予算科目	会計	01	一般会計		
小事業	40	水防費				款	09	消防費		
事業開始年度		令和2年度				項	01	消防費		
事業進捗度		-				目	04	水防費		
当初予算額		670,000 円			目的	災害（洪水・高潮等）による被害を未然に防止し、市民の生命・財産を守り、安全で安心な地域づくりを目指すもの。				
予算現額		130,000 円								
決算額 A		111,980 円								
財源内訳	国・県支出金		0 円							
	地方債		0 円							
	その他		0 円							
	一般財源		111,980 円							
人件費コスト B		2.0人役	14,082,000 円		総事業費 A+B		14,193,980 円			
【事業名称】		事業費		国・県支出金	地方債	その他	一般財源			
【水防活動事業】		111,980円		0円	0円	0円	111,980円			
<p>災害発生に備え、水防倉庫内の資機材の確認を行い不足品の購入、土のうを作るための砂を購入した。また、倉庫の維持管理や資機材整備を行った。</p> <p>●需用費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（ブルーシート 他） 85,250 円 <p>●原材料費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料費 26,730 円 										